

果実への袋かけをお願いします！

★注意) セグロウリミバエは案外、産卵管が長い！



普段は格納 1cm近く伸びる
メス成虫の産卵管

2mmの網で
覆っても…

←網



網が果実に
近いと、
突き抜けて
産卵され
てしまう！

2mm網は栽培ハウス用！

★虫が侵入しないように果実全体を袋で覆いましょう

○果実専用袋(紙製)



パッションフルーツ畠の例

- 果実が見えないため虫に見つかりにくい。
- 風雨には比較的強い。
- 果実全体を覆いやすい
- 大きな果実には対応できない。

○新聞紙など



- 入手しやすい。
- 果実が見えないため虫に見つかりにくい。
- 大きな果実にも対応できる。
- 日当たりに難。
- 風雨で破れやすい。

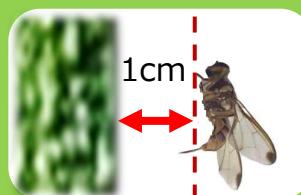
△網(ネット)袋



△出荷ネット(1mm前後)
・産卵されないよう
2枚重ね等で対応

✗ミカンネット
・ピッタリしすぎる
・網目が荒い

- 網を果実から1cmほど離すよう工夫するといい。
- 果実にピッタリとくっついていると産卵されやすい。



△ビニール袋など



- 産卵されにくい
- 通気性が悪く果実が蒸れやすい。
- 穴あき袋は効果が薄い。



家庭菜園でのウリ科作物の栽培自粛を あらためてお願ひいたします

■栽培自粛をお願いしたいウリ科作物の例



どうしても栽培したい場合は… セグロウリミバエの発生源とならないよう
不要果実を適切に処分してください。

①埋設処理

- 寄生が疑われる果実や残渣等を、農家圃場や家庭菜園の隅に穴を掘って埋設処分する。その際、できるだけ深い穴を掘り、20cm以上の厚さの土をかぶせる。
- 埋設が浅すぎると、幼虫が生き残ってサナギになり、羽化してくることがあるため、要注意。



②密閉・陽熱処理

- 寄生が疑われる果実や残渣等を穴などない丈夫なビニール袋に入れて密閉し、虫が死滅するまで太陽熱で蒸し込む。
(夏場の青天なら1週間、冬場は1か月程度が目安)
- 処理後は地域のルールに従って処分する。
(お住いの自治体に別途ご相談ください。)



③茎葉の早期片付け

- ウリ科野菜は収穫後も枯れずに果実や雌花を付け続けるため、収穫後はトラクターで早めに茎葉をすき込み片づける。
- 不要な果実が圃場に残っていると、すき込み後に発芽・生育してくる場合があるので不要果実は①②の方法で事前に処理しておく。



④冷凍処理

- 家庭菜園等で量が少なければ、冷凍処理という方法もある。
- ビニール袋などに密閉して冷凍庫で2~3日間凍らせ、虫が死滅してから家庭ゴミとして処分する。

